

モジャコ情報 (平成16年第1回調査結果)

調査期間：平成16年3月4～12日

調査船：おおすみ 63t

調査海域：西薩，南薩，屋久島，種子島，大隅

鹿児島県水産試験場

平成16年3月12日発行

1【海況】・・・“かなり低め”から“平年並み”

- ・ 黒潮北縁域は中之島の北6.8マイルにあり(3月10日現在)，離岸傾向にある。
- ・ 定期船による観測では(3月10日現在)，黒潮流域で22.19 (平年並み)，薩南海域で17.13 (かなり低め)，西薩海域で16.80 (平年並み)であった。
 - 1 平年値は，昭和56年から平成12年までの平均値。

2【調査結果】

(1) 流れ藻の分布・・・昨年同期に比べかなり少ない

- ・ 流れ藻の視認個数は合計51個であり，10マイル当たり0.9個で，昨年同期(9.1個/10マイル)に比べてかなり少ない。また，平年同期(1.1個/10マイル)よりやや少ない。
- ・ 採取した流れ藻重量は1.1～16.1kg(平均4.5kg)で，昨年同期(0.7～57.2kg 平均10.8kg)に比べて小型の藻である。また，視認された流れ藻も小型のものが多かった。
- ・ 宇治周辺海域で流れ藻が多い。

(2) モジャコの付着状況・・・昨年同期に比べ多い

- ・ 採取した流れ藻は7個であり，流れ藻1kg当たりの付着尾数は12.1尾で，昨年同期(0.8尾)より多い。また，平年同期(3.4尾)に比べて多い。
- ・ 屋久島南西の1カ所のみで169.0尾と非常に多く，南薩海域で1.9尾，西薩海域で1.4尾であった。

(3) モジャコの大きさ・・・昨年同期に比べかなり小型

- ・ 採捕したモジャコの全長は平均23.8mm(範囲：10～74mm，モード：20～24mm)であり，昨年同期(46.6mm)及び平年同期(42.5mm)に比べてかなり小型である。
 - 2 平年とは昭和61年から平成15年までの3月の平均値。

表1 海況及びモジャコの付着状況(3月)

調査項目	海 域	平成16年	平成15年	平成14年	平成13年	平成12年	平年(S61～H15)
流れ藻視認個数 (10マイル当たり)	大隅	0.0	0.6	0.2	0.5	0.0	0.1
	種子島	0.1	0.3	0.3	2.0	0.1	0.3
	屋久島	0.5	15.9	0.9	0.7	0.2	1.7
	南薩	1.8	20.0	2.4	0.7	0.5	2.6
	西薩	1.9	5.6	1.1		2.0	2.4
	平均(全海域)	0.9	9.1	1.2	0.8	0.2	1.1
流れ藻1kg当たり のモジャコ付着尾数	大隅				0.0	0.0	4.6
	種子島				5.5	6.8	6.9
	屋久島	17.3	0.7	0.2	2.8	0.2	7.1
	南薩	1.9	3.6	2.7		26.9	6.4
	西薩	1.4	1.0	0.2		4.9	1.4
	平均(全海域)	12.1	0.8	0.8	3.0	3.7	3.4
モジャコ平均全長 (mm)	大隅						31.5
	種子島				42.1	43.5	43.6
	屋久島	24.0	49.4	34.8	49.2	77.0	46.8
	南薩	20.3	38.3	51.3		27.4	41.9
	西薩	20.1	38.5	24.1		32.8	36.6
	平均(全海域)	23.8	46.6	48.0	46.8	39.5	42.5
定期船観測による 各海域の3月上旬 平均水温()	黒潮流域	21.91	22.35	22.58	21.87	22.25	21.98
	薩南海域	19.12	19.62	18.60	18.60	20.22	19.25
	西薩海域	15.58	16.11	16.57	15.50	19.50	17.04

3 空欄は流れ藻を採取できなかった又はモジャコが付着していなかったことによる欠測。

4 定期船観測による各海域の平均水温()の平年値は，S56～H12の平均である。